

# 平成26年度補正 ものづくり・商業・サービス革新補助金

## 1. 事業の目的

国内外のニーズに対応したサービスやものづくりの新事業を創出するため、認定支援機関と連携して、革新的な設備投資やサービス・試作品の開発を行う中小企業を支援する。

## 2. 補助対象者

本補助金の補助対象者は、日本国内に本社及び開発拠点を有する中小企業者に限る。

本事業における中小企業者とは、【ものづくり技術】で申請される方は「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」第2条第1項に規定する者をいう。

また、【革新的サービス、共同設備投資】で申請される方は「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」第2条第1項に規定する者をいう。

## 3. 補助対象事業

本事業では、【革新的サービス】、【ものづくり技術】、【共同設備投資】の3つの類型がある。その中で、【革新的サービス】については「1.一般型」、「2.コンパクト型」がある。

	一般型	コンパクト型
【革新的サービス】	・補助上限額:1,000万円 ・補助率:2/3 ・設備投資が必要	・補助上限額:700万円 ・補助率:2/3 ・設備投資不可
【ものづくり技術】	・補助上限額:1,000万円 ・補助率:2/3 ・設備投資が必要	
【共同設備投資】	・補助上限額:共同体で5,000万円(500万円/社) （「機械装置費」以外の経費は、事業管理者の「直接人件費」を除き補助対象経費として認めておりません）	・補助率:2/3 ・設備投資が必要

## 4. 補助対象要件

申請事業は、下記の要件を満たすことが必要である。

### 【革新的サービス】

- (1)「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出等であり、3~5年計画で、「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成できる計画であること。  
(2)どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性について認定支援機関により確認されていること。

### 【ものづくり技術】

- (1)「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した画期的な試作品の開発や生産プロセスの革新であること。  
(2)どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性について認定支援機関により確認されていること。

### 【共同設備投資】

- (1)本事業に参画する事業実施企業により構成される組合等が事業管理者となり、複数の事業実施企業が共同し、設備投資により、革新的な試作品開発等やプロセスの改善に取り組むことで、事業実施企業全体の3~5年計画で「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成できる計画であること。  
(2)事業管理者は、事業実施企業が出資した組合、共同出資会社又は事業実施企業が社員である社団法人であること。ただし、申請時には組合等を構成していないなくても、交付決定までに組合等を構成する場合は、その任意グループでの申請ができる。その場合、組合等として法人格を得た後、交付決定することとする。  
(3)組合又は共同出資会社については、事業管理者として申請を行う以外に、事業実施企業として、補助事業に参画することができる。  
(4)どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性について認定支援機関により確認されていること。  
(5)共同体内において、代表者が同一である、株式を支配している等、実質的に同一とみられる企業が2社以上存在する場合、申請できる社はそのうち1社とする。

## 5. 補助率等

対象経費の区分	補助率	補助上限額	補助下限額
機械装置費、原材料費、直接人件費 技術導入費、外注加工費、委託費 知的財産権等関連経費、運搬費 専門家経費、雑役務費、クラウド利用費	補助対象経費の3分の2以内	【革新的サービス】 一般型 1,000万円 コンパクト型 700万円 【ものづくり技術】 1,000万円 【共同設備投資】 5,000万円 (500万円/社)	100万円

# 26年度採択

ぜんぎょれん八戸食品株式会社

株式会社ユーメリアファクトリーパーク

株式会社西北総合ドライクリーニングセンター

株式会社ライケット



【事業計画名】

## 加工・販売原料の高鮮度化、 製品積み作業の省力化を目指す製造ラインの構築

背景・目的

### 選別作業の短縮と効率化が、高品質のカギ

当社では、八戸漁港で多く水揚げされるイカ、サバを主体として冷凍・販売をしているほか、加工品を製造して一般消費者向け商材、業務用商材として、全国各地の量販店等で販売しており、産地に直結した加工業者として事業活動を行っています。

水揚げされるサバは、ばらつきのあ

る魚体が1網で水揚げされます。また、漁獲範囲の拡大により、漁獲地から漁港までの運搬時間の増加、漁船の入港時間の遅れが生じており、魚の鮮度や作業時間の拡大等、状況が変わっています。

こうした背景から、スピーディーかつ正確な選別作業の実現と、選別後

の積み込み作業をする作業員の負担軽減、人材確保が喫緊の課題となっていました。



実施内容

### 高鮮度な状態で原料選別し、 より高品質な製品を目指す

本事業で自動定量器、小型自動選別機・排出コンベア、地下型パイルテールの3つの機器を導入し、選別、凍結工程でのサイズ選別能力の向上、鮮度向上のための計量時間の短縮化、製品積み作業の省力化を図り、加工原料、販売原料の高鮮度・高品質化を

目指しました。また、労働負荷の少ない効率的な製造ラインの構築も目指しました。

導入機器の選定にあたっては、①高鮮度、②高品質、③省力化、④効率化の4項目を満たす機種を条件として選定しました。



## 事業成果

## 作業時間の短縮により高鮮度化、原料選別での人員削減も

精密なローラー開閉機構を持つ小型自動選別機の導入により、選別出口が1か所から2か所に増え、再選別しなくても一度に選別サイズの細分化ができるようになったことから、これまでの滞留が改善されて高品質な原料選別ができるようになりました。

また、排出コンベアを流れた魚は、自動定量器の導入によって容器ごと計量できるようになり、より細かい選

別や計り直しの手間がなくなったことで計量時間の短縮と計量作業員の人員削減が可能になりました。高鮮度化、省力化につながっています。

製品積み作業は、作業員の肉体的な負荷が大きな重労働でしたが、地下型パイルテーブルの導入によって労働負荷が減るとともに、作業員1名の削減ができ、作業の効率化が可能になりました。

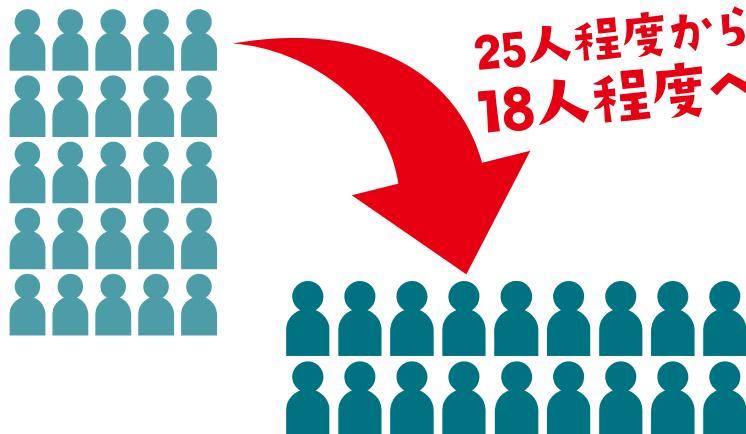
これらの成果により、加工・販売原材の高鮮度化、製品積み作業の省力化を目指す製造ラインが構築されました。



## ココがポイント

少人数での作業が可能に！

それまで製造ラインには常時25名程度の作業員が必要でしたが、製造ラインを再構築して高精度・負担軽減できる機器を導入したことにより、**最低15～18人程度の作業員でラインを動かすこと**ができるようになりました。



## 今後の展望

## 製品に付加価値を付け、海外への輸出も視野に

より細かい原料選別ができるようになったことで、加工品の用途に応じた原料の提供ができるようになっています。今後はすでに販売実績のある県内サバ缶詰メーカーを中心として、養殖業者やはえ縄漁業者など、各ユーザーが求めているグラム数に応えるかたちで原料販売することで、さらなるシェアアップを目指します。これまで、ある程度の小さいサイズの魚は、低単

価で養殖用のエサとして売るしかありませんでしたが、細かな選別を活かして小さいサイズでも仕分けることで付加価値を付け、販売価格の向上につなげたいと思っています。

また、冷凍保存した製品の海外輸出にも取り組んでいきます。現在輸出を検討しているのはベトナムやタイ、フィリピンなどの東南アジアの国々です。小さいサバを露店で焼いて販売した

り、スーパーの食品売り場などでバラ売りするなど、海外での需要も増えつつある状況です。100グラム程度の小さいサイズのサバは、海外では缶詰に加工され、販売されています。原料を細かく選別できることで、冷凍状態で海外の缶詰工場への輸出も可能となっています。

**ぜんぎよれん八戸食品  
株式会社**

代表取締役社長 石川 勝巳 ◎創業 平成15年 ◎資本金 1900万円 ◎従業員 95名

〒031-0822 八戸市大字白銀町字三島下91  
TEL.0178-33-7155 FAX.0178-34-1826  
URL:<http://www.jfhc.jf-net.ne.jp/info/>





## 背景・目的

## 金属材料の顧客ニーズに応えられる設備が必要

当社は、普通鋼や特殊鋼、ステンレス、アルミ、その他非鉄金属など50種類以上の金属の特注プレート加工・販売を行っているユーメリアグループ（本社：宮城県）の青森工場です。

近年、特殊鋼プレート市場における競争は激化しており、同業他社ではコスト削減や納期短縮、品質向上などに

よる差別化に取り組んでいます。当社においても、コスト削減と多様化する注文寸法への対応に努めてきましたが、既存設備での対応に限界を感じていました。また、特殊鋼メーカー各社における規格寸法の合理化や、市場全体での大型寸法材料の増加対応にも苦慮していました。



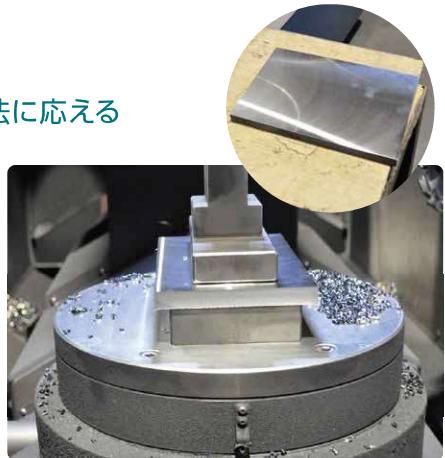
## 実施内容

## 両頭フライス盤の導入により、多様な注文寸法に応える

コスト削減や短納期、寸法対応などの課題解決を図ることを目的に、新規設備として両頭フライス盤を導入しました。

両頭フライス盤とは、ターンテーブルに設置した金属の材料を、設定した寸法に自動で研削する機械で、研削す

る突起が2つ付いていることから「両頭」と呼ばれます。今回導入した機器は開口部が広いため、オペレーターが作業しやすい構造となっております。また、切粉飛散防止のためにカバーで覆われており、削られた金属を飛散させない設計になっています。



## 事業成果

## 加工サイズ、能力が拡大し、稼働時間も増加

既存設備では、定期的に行う摩耗チップの交換に時間を要し、その間の機械停止による稼働率の低下が課題となっていました。新設備の導入により、摩耗チップは片側1つあたり約3分で交換できるようになり、約30%短縮することができました。切削加工時間も速くなり、約17%の時間短縮となっています。

また、既存設備では作業員が手に

持て運べる材料サイズまでしか加工できなかったのが、新設備の両頭フライス盤はクランプ退避システムにより、クレーンを用いることで最大積載重量最大320kg、最大サイズ460mm角の材料まで搬出入可能となりました。これにより、加工サイズ、能力が大幅に拡大し、多様化する注文寸法への対応も実現しました。

機械全体がカバーで覆われている

ため、切削加工時に発生する切粉の約99%を機械内に溜め、飛散がほとんどありません。従来より騒音も低減し、工場内がクリーンで安全な労働環境に改善されました。

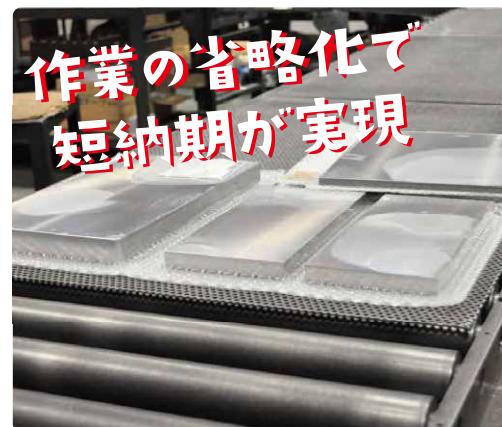
執行取締役  
業務本部 本部長  
齊藤 智幸



## ココがポイント

機械の高精度化により作業が省略され、短納期が実現

新規導入した両頭フライス盤は、オペレーターが設定した寸法に対して10~20ミクロン内の誤差で仕上がります。そのため、フライス盤の後処理の工程では作業員が平面度や直角度などを確認する程度で手直しを入れる必要がほとんどなく、次の工程にすすめます。この手直しの省略により、受注してから翌々日には納品できるなど、短納期も実現できています。



## 今後の展望

## 多様化する需要に対応できる「青森ファクトリー」を目指す！

当社は宮城県に本社があり、山形ファクトリー、宮城ファクトリー、関連企業が岩手県と長野県にもあります。それぞれの工場で特色がありますが、青森ファクトリーでは「小さなものから大きなものまで」どんな金属でも加工できる設備を揃え、今後さらに多様化する需要に対応していくようにしています。

両頭フライス盤の導入により、研磨

加工などの後工程を含めた工場全体の生産能力が向上することで、コスト削減や短納期化、多様化する寸法対応、大重量の素材加工が可能となりました。今後はさらなる需要の取り込みと事業の拡大を図ります。最も需要が多いのは、各工場の生産工程のロボットや、車の組み立てのラインをつくるためのパートです。各工場で設備投資が活発化することで当社への受注も

増えてくるので、短期間での大量受注に応えられるような生産体制を整えていきます。

人の手が掛からない機械が増えている一方で、現在でも必ず人の目と手で確認している計測作業もあります。今後は計測作業においても人の手が掛からない機械を導入し、人材不足に対応していく必要があると考えています。

株式会社ユーメリア  
ファクトリーパーク

代表取締役社長 橋爪 浩之 ◎創立 平成15年 ◎資本金 1億円 ◎従業員 66名

Tel.038-1303 青森市浪岡大字徳才子字山本42-1  
TEL.0172-62-7771 FAX.0172-62-9675  
URL:<https://eumeria-group.net/eumeria/>





代表取締役社長  
上泉 学

### 【事業計画名】

## 病院・高齢者施設の入所者向け 私物洗濯の個別管理システムの構築

### 背景・目的

### 私物洗濯の個別管理に課題。服の縮みによる苦情も

当社は、病院や福祉施設の布オムツ等を対象としたクリーニング業として、平成13年に設立しました。現在は、オムツが布製から紙製に切り替わり、各施設からのニーズも多いことから、私物洗濯を中心とした業務を行っています。

私物洗濯は、施設利用者個人の私物

を預かって洗濯することです。個人毎に洗濯物を詰めてもらい、施設内で集約したものを預かりします。洗濯をする際には、ネット袋のまま洗浄・脱水・乾燥を行いますが、既存の洗濯機では容量が小さく、回転バランスの悪さにより脱水が困難となるほか、乾燥においても縮みや変色などの課題が

生じていました。



### 実施内容

### 洗濯脱水機と乾燥機の導入で個別管理体制を構築

大型の全自动洗濯脱水機と施設用乾燥機を導入することで、作業負担の軽減やクレーム解消を図り、ニーズに対応した個別管理体制を構築することとしました。

導入した設備は、容量100kgの全自动洗濯脱水機と、ドラムが8個並び、

一個あたり17kgの容量に対応した施設用全自动乾燥機です。乾燥機は、青森県の冬期間の地域性や衣類の素材を考慮し、より乾燥能力が高い機種を導入しました。



## 事業成果

## 衣類の傷みなどのトラブル減少、作業も軽減された

全自動洗濯脱水機の導入により、一度に洗濯できる処理量が増えたため、従来と比較しておよそ3時間、洗濯脱水にかかる時間が短縮できています。作業効率が向上したため、機械のメンテナンスや清掃等、洗濯以外の業務に時間を充てることができるようになりました。

また、施設用全自動乾燥機の導入によって、個別のドラムごとに温度設

定できるようになったため、これまでの業務用乾燥機で発生していた急激な温度上昇による衣類の傷みや硬くなるといったトラブルがなくなり、風合いがよく柔らかな仕上がりとなりました。介護施設など、お年寄りの多い施設からの私物洗濯は好評で、衣類が柔らかな仕上がりとなったことで他社との差別化にもつながっています。

また、8つの小さなドラムで乾燥さ

ることで、個別管理が整備され、畳み作業から出荷までの作業負担の軽減や紛失を防止できています。



## ココがポイント

## 設備導入後の苦情がゼロへ！

個人の私物をお預かりする以上、なるべく早くお返しすることを目指しています。新しい乾燥機の導入後は、中1日でお返しできるようになりました。また、**乾燥のクオリティが上がったことで、かつてあった衣類が縮んでしまうことや、傷むことへの苦情がなくなりました。**



## 今後の展望

## 社会のニーズに柔軟に対応し、需要拡大を目指す

現在当社は、青森市から端は深浦町まで、つがる・五所川原地域を中心に、病院、老人ホーム、介護施設等のリネン類と私物洗濯を引き受けています。

クリーニング業界としての需要は縮小傾向にあるものの、病院や福祉施設利用者を対象とした「私物洗濯」の市場は、高齢化や病院、福祉施設のスタッフ不足などの背景から拡大傾向に

あります。また、新型コロナウイルスの感染防止対策によって、面会に来る家族へ洗濯物を預けることができなくなり、預けていた方の洗濯は施設の職員が行っているという施設もあります。今後ますます洗濯業務のアウトソーシングを考える施設が増える可能性があり、このようなニーズに対し、当社では柔軟に対応ていきたいと考えています。

また、施設利用者の洗濯だけではなく、自宅で暮らす高齢者の私物洗濯業務も視野に入れています。どのように回収し、配達するかなど、システムの構築はこれからですが、社会的ニーズがある限り応えていけるようなやり方を模索していきます。

## 株式会社西北総合ドライクリーニングセンター

〒037-0106 つがる市稻垣町沼崎米橋37番地3 TEL.0173-69-7107 FAX.0173-69-7071  
代表取締役 上泉 学 ◎創 業 昭和39年5月 ◎資本金 1,000万円 ◎従業員 45名





## 【事業計画名】

## 新型精米機導入による品質・ 作業効率の向上および顧客ニーズへの対応

## 背景・目的

## 消費者ニーズに合った少量多品種生産が急務

当社は、米穀の搗精・卸売を専門に行う流通業者として、米穀の販売、搗精、集荷、仲買、出荷、加工と、肥料、農薬、農業資材の販売を行っています。

近年の国内の米の消費動向は、人口減少、少子高齢化、生活スタイルの変化、食の多様化等の影響から一貫して減少している状況です。購入量にも

変化が見られ、2kgや5kgのような少量商品が売れる傾向にあります。また、消費者の品質に対する監視の目も厳しくなっており、安心・安全に対する意識が高まっています。このことから、より高品質な精米技術が求められている現状があります。



## 実施内容

## 少量多品種に対応できる精米機の導入

これまでも、製造工程においてトレーサビリティ対応のシステムを導入し、最新の選別装置や金属探知機等の品質管理システムの入れ替えを隨時実施して、安心・安全な商品の提供に努めてきました。

多品種・少量生産に対応した新型精

米機を導入することによって、消費者ニーズに対応した商品の製造・販売を行い、製造環境の向上によりいっそう高品質な商品の提供を図ります。従来の精米機は古く、コンタミ（コンタミネーション：異品種混入）の問題もあり精度の高い精米が難しいことか

ら、少量生産に対応できる精米機ミルマスターを新規導入しました。



## 事業成果

## 精米の仕上がり品質が向上、省エネも

新規に導入した精米機ミルマスターは、米の品種や水分量などにあわせた細かな設定ができることが特長です。オペレーターが隨時確認しながら、精米の仕上がりを細かく設定できるため、より精度の高い精米ができるようになりました。また、従来使っていた精米機よりもコンパクトなものに買い換えたため、電気代が従来の2分の1以下にまで減少し、コスト削減と、省

エネによる環境負荷の軽減につながりました。コンパクトでありながらも、1時間あたり6トン、1日当たり40～50トンもの精米ができます。

また、小ロットでの精米作業において、次のロットへの切り替えに時間を要していましたが、導入した精米機では搗精終了時にエアーですべての米を自動排出するコンタミ防止の機能がついているため、次のロットへの切り

替え時間の短縮が実現しました。



## ココがポイント

碎米発生率が低く、甘み・うまみが引き出される米に

玄米を白米に精米すると、約90%の重さになります。このときの割合を精米歩留りといいますが、精米機を導入したことによって、精米歩留りの精度が向上しました。白米が美しく見える白度まで精米しつつも、米本来の甘み・旨みを残した精米に仕上がっていきます。

**従来設備では90.5%の歩留りだったのが、新規設備では91.1%に!**



## 今後の展望

## 海外輸出やネット販売も視野に、ニーズに合った米を販売

現在、商社を通じて台湾やオーストラリア等へ輸出しており、海外のスーパー・マーケットなどで販売されています。輸出の際には窒素ガスを入れて脱氣することで、長く保存できるように工夫しています。現在はまだ小規模ですが、今後さらに国内での需要が減少していくなかで、将来期待の持てる市場であると考えています。また、ネット販売にも本格的に取り組む予定です。

米の袋には精米年月日を記載していますが、この精米年月日を気にするお客様は多く、古い精米日ほど売れ残ってしまう現状があります。飲食店、弁当店、炊飯業者、学校給食関係業者等、発注をいただく業者への対応としては、タイムリーに精米してタイムリーに出荷できるような体制を整え、発注をいただいてから精米するようにして品質の向上に努めます。

食のあり方が時代とともに変化するなかで、消費期限が長い米や、全国の特A米を扱う、小袋での販売を展開するなど、消費者のニーズに合わせた商品の展開を今後も提供していきます。



業務部 課長  
神山 将人

## 株式会社ライケット

代表取締役 河村 忠夫 ◎創業 平成11年5月 ◎資本金 1億円 ◎従業員 47名

〒039-2246 八戸市桔梗野工業団地3-7-50  
TEL.0178-28-2908 FAX.0178-28-2963  
URL:<http://www.riket.co.jp/>

